

## ～ 平成 26 年度後期「保護者対象アンケート・児童アンケート 結果」から ～

集計結果の中で特徴的な項目 〈アンケート実施:平成 27 年 1 月 回答:保護者 512(99%), 児童 508(98%)〉

- ◎ 肯定的評価が増えた項目 (保護者)
  - 1 「気持ちの良い挨拶ができる」
  - 2 「安全に留意した行動をとろうとする」
  - 3 「きまりや約束を守って生活する」
  - 4 「基礎的・基本的な学力が身につく」
- ▼ 肯定的評価が減った項目 (保護者)
  - 1 「基本的生活習慣の確立」
  - 2 「教育方針や取組についてわかりやすく伝える」

## 安全に留意して

保護者の方からの「安全に留意した行動をとろうとする」の評価が上がりました。安全教育の成果が児童の姿を通して認知されるようになったと考えます。また、引き渡し訓練の折に、避難訓練や実際の災害時に想定されることを具体的に伝えたことも、安全行動への関心を高めるよい機会になりました。交通事故や校内での事故防止、防犯や防災、食の安全や感染症予防等、安全教育は多岐・広範囲に渡りますが、自分の身を自分で守れる子どもに育つよう、これからも丁寧に指導していきたいと考えます。

## きまりや約束

最近、「規範意識」「学習規律」「マ・モ・ル (マナー・モラル・ルール)」等の言葉をよくご覧になると思っています。簡単に言えば「きまりや約束を守る」ということですが、あらためてこのようなことが言われるようになったのは、あたりまえのことがあたりまえにできない世の中になり、様々な問題が起こっていることを示しています。川岡小学校では、全教職員が児童に同じように声をかけ、学校のきまりや社会の約束が身につくように力を入れています。「きまりや約束を守って生活する」項目の評価が少し上がったことは、大変うれしいことです。居心地のよい学校や学力が身につく学校づくりの基盤になると考えます。

# あいさつ いっぱい

地域の方々からはおほめいただくものの、学校評価アンケートではなかなか数値に表れないものとして、あいさつに関する項目がありました。今回、保護者の方からの「気持ちのよい挨拶ができる」について少し評価が高くなったことで、学校での姿が外でも表出できてきたのではないかと感じます。学校で身につけたことは、学校だけで終わらせるのでは意味がありません。一人一人の実生活に生きてこそ学校教育は大きな意味をもちます。あいさつは社会への窓口であり、相手を大切にす尊い行動、本校の子どもの魅力となっています。

## 基本的な生活習慣

## 学校のこと知りたいな

課題として、「基本的な生活習慣の確立」と「教育方針や取組についてわかりやすく伝える」について、保護者の方からの評価が下がっています。

「基本的な生活習慣」の中で一番大切な「早寝・早起き・朝ごはん」については、家庭と学校がしっかり連携しなければ定着できません。児童の生活実態をしっかりと把握して、どのような方策があるか智恵を出し合いたいと思います。

また、学校からは、お知らせする内容を吟味し、おたよりやホームページを充実させて、必要な情報をわかりやすく伝えるとともに、保護者の方の「ここが知りたい」「わが子の学年の様子を知りたい」という願いに応えるよう心がけていくことが課題です。プリントやおたよりが多すぎて…というご意見がある反面、もっと情報発信してほしい…というお声もあるということを受け止め、内容の精選や伝え方の工夫を考えていきたいと思っています。

今年度も学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

次年度も、どうぞよろしくお願いたします。